

第5学年1組 家庭科学習指導案

日 時 令和4年11月4日(金) 第5校時
場 所 5年1組教室
在籍児童数 男子17名 女子15名 計32名
授業者 教諭 後藤 さや香

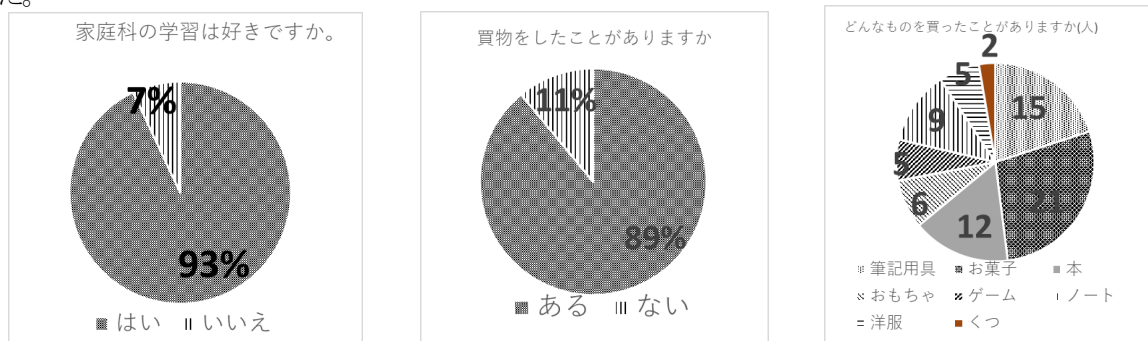
1 題材名「生活を支えるお金と物」 内容C(1)アイ(2)アイ

2 題材について

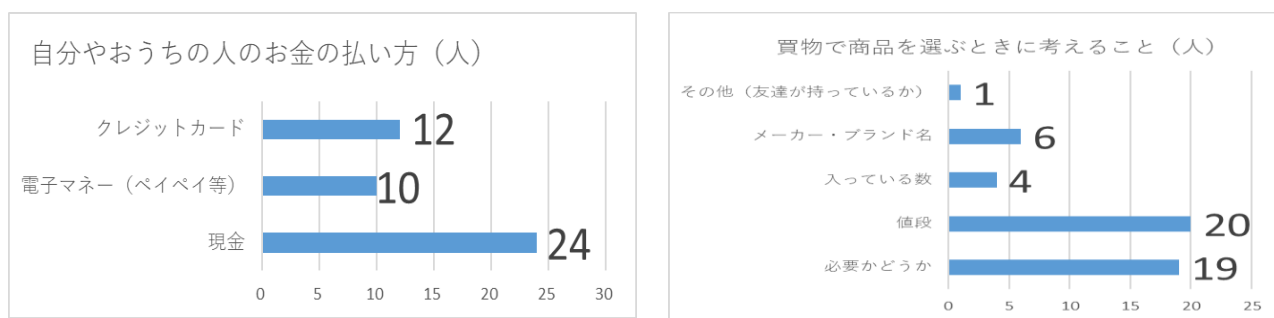
(1) 児童観

本学級の児童は家庭科の授業が好きで、学習を楽しみにしている児童が全体の93%と多く、意欲的に学習に取り組んでいる。今まで行ってきた調理や、生活に関する学習でも、取り上げる題材を自分事としてとらえている様子が見られた。

本題材に関わる内容として、3年生の社会科「スーパーマーケットの仕事」があった。しかし、コロナ禍であったため、本来実施予定だった社会科見学のスーパーマーケットで買物を体験する学習は行わず、知識のみの学習にとどまっている。そのため、消費に関する児童の実態を調査するためにアンケートを実施した。



アンケートの結果、児童の89%は、これまでに買物の経験があることが分かった。また、買物の方法として、現金や電子マネーで購入する他、カードを使っての購入やインターネットを介しての購入方法があることは知識としてある。しかし、物の選び方や買い方についての詳しい方法については理解できていない児童は少なかった。また、買物をする時に気を付けていることを記述できた児童は一人のみだった。買物をする際に「値段」「自分にとって必要かどうか」等について考えることはできていたが、買った後のことまで考えることはまだできていない。



ほとんどの児童は、買物をすることに興味をもち、賢い買い方ができるようになりたいと考えている。しかし、その賢い買い方ができることは自分自身の利益でしか考えることができておらず、社会全体のことを考えるまでには至っていない。

(2) 教材観

本題材は第5学年、第6学年の2年間で、買物の仕組みや、消費者の役割を学ぶ中心的な題材となる。買物のしくみや、物の扱い方、金銭の適切な使い方について具体的な体験をしながら学習することをおして、身の回りの物や金銭の大切さへの関心を高め、望ましい物の選び方や買い方に関する基礎的な知識や技能を習得できるようにすることが大切である。そのためには、児童の生活の実態をふまえ、実生活に沿った事例を提示しながら思考する過程を大切にしていきたい。そして、物や金銭の計画的な使い方を考え、消費者として自分の生活に見合った購入をする能力や態度を育てることをねらいとしている。

具体的には、①自分の生活をふり返り、物を手に入れるための具体的な手段を知ること②消費者として計画的な買物をする必要性に気付かせること③買物の仕組みを理解すること④具体的な買物場面を想定し自分だったらどのように判断するかを「買い方の手順」にそって確かめること⑤物を手に入れる目的を考え、商品に関する情報を比較して選ぶことの方法を知ること⑥表示やマークの意味が分かり、適切に選択すること⑦目的に合った手に入れ方・買い方ができるようになること、である。これらの学習活動をと

して、自立した消費者としての知識・技能を身に付け、主体的な家庭生活を営める自立した消費者に成長し、持続可能な社会づくりを目指してほしいと考える。

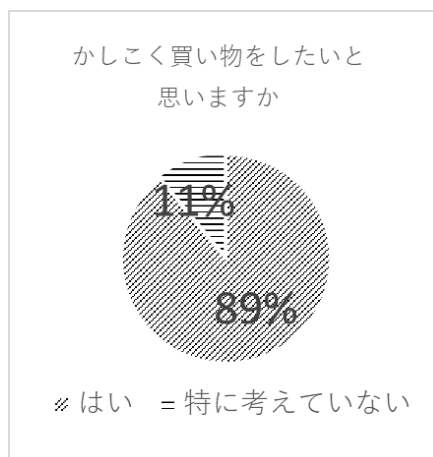
(3) 指導観

「お金の使い方を見つめよう」の段階では、自分の生活と物の関わりを考えさせる活動をととして、必要な物を手に入れる方法について話し合い、消費者として計画的に買物をする必要性に気付かせたい。そして、消費者の役割（①買う前によく考える②買った後、最後まで使いきる③環境に与える影響について考える④買物トラブルの対応への仕方を知る）を理解させ、「物の選び方、買い方、使い方を工夫して、かしこい消費者になろう」という学習課題をもたせたい。

「計画的に買物しよう」の段階では、買物の仕組みを理解させた上で具体的な買物場面を設定し、目的に合った買物の仕方を考えさせる。まず、自分の学習用具について考えさせ、文房具を買うときの手順について考えさせる。次に、4種類の異なる条件のノートを選ぶ活動を設定し、商品に関する情報を比較しながら目的に合うものを1つ選ばせる。

この活動をととして、商品の表示やマーク、選び方の観点を整理させたい。本時では、今まで学んだ観点を生かし、カレーの材料を選ぶ活動を設定し、買い方の手順を明らかにさせ、自分なりの視点をもって選ぶことができるようにする。

「生活に生かそう」の段階では、これまでの学習活動を振り返らせ、物を選ぶときや買い物をするときこれから工夫したいことを自己決定させる。そして、それをもとにシミュレーションや家庭実践を行い、自己決定のよさを味わわせる経験をととして、更なる実践意欲を高めさせるようにする。



3 題材の目標

- (1) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。また、身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。

【知識及び技能】

- (2) 購入に必要な情報を活用し、身近な選び方、買い方について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し、実践しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 買物の仕組みや消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 - 身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。	身近な物の選び方、買い方について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとしたりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

5 題材の指導と評価の計画（6時間扱い）

小 題 材	時 間	○ねらい・学習活動	◇評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
お 金 の 使 い 方 を 見 つ め よ う	1	○買物の仕組みが分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。 ・自分の消費生活を振り返って課題意識をもつ。 ・売買契約について知る。 ・物や金銭の使い方について考える。 ・環境への配慮	◇買物の仕組みが分かり、適切な消費行動をとる必要があることに気付くことができる。 ・ワークシート ・机間指導		◇自分の生活と物との関わりから、物や金銭の大切さに気付き、計画的な買い物に関心をもっている。 ・ワークシート ・机間指導
	2	○消費者の役割について分かり、物や金銭の計画的な使い方について理解する。 ・金銭が使われている場面について考える。 ・環境に考慮した買い方や物の使い方について考える。 ・自分の生活を振り返り、消費生活に関わる自分の課題について考える。	◇消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 ・ワークシート	◇身近な物の選び方、買い方について問題を見出して課題を設定している。 ・ワークシート	
計 画 的 に 買 物 し よ う	3	○身近な物の選び方、買い方が分かり、購入に必要な情報の収集・整理を理解する。 ・文具を選ぶ時の観点について話し合い、整理する。 ・4種類のノートの条件を比較し買い物をする際の観点で整理し、選ぶ。 （・値段・品質・量・環境への配慮）	◇目的や品質を考えた物の選び方や適切な買い方について理解している。 また、買物や支払いの方法と種類、売買契約の成立について理解している。 ・ワークシート ・机間指導	◇情報を活用し物の選び方や買い方について自分なりの考えを表現することができる。 ・ワークシート ・机間指導	
	4	○身近な物の選び方、買い方について実践に向けた計画を立て、分かりやすく表現するとともに課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。 ・前時学習で学んだ観点をもとに、カレーの材料を選ぶため際に商品を選ぶ視点について考え、情報収集をする。	◇予算や目的に合わせて、購入しようとする物の情報を収集することができる。 ・ワークシート ・発表		◇家族の一員として生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・机間指導
	5	○身近な物の選び方、買い方について実践に向けた計画を立て、分かりやすく表現するとともに課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。 ・前時学習で学んだ観点をもとにカレーの材料を選び、商品を選ぶ時の自分なりの視点についてまとめる。		◇目的に応じた商品をも自分なりの視点（理由）をもって選ぶことができる。 ・ワークシート ・iPad ・机間指導	
	本 時	○これまで学習したことをもとに家庭実践計画書をつくる。 ・家庭実践を行う。		◇身近な物の選び方、買い方について実践に向けた計画を考え工夫している。 ・家庭実践計画	◇家族の一員として生活をよりよくしようと物や金銭の使い方について工夫し、実践しようとしている。 ・ワークシート ・机間指導

生活に生かそう	6	○身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、物や金銭の使い方と買物について一連の活動を振り返って改善しようとしたりする。 ・家庭実践報告書をまとめ、かしこい消費者について学級で話し合う。		◇生活で使う物や金銭の使い方を見直し、選び方や買い方、使い方を考えたり工夫したりして自己決定している。 ・ワークシート(家庭実践報告書) ・発表	
---------	---	--	--	---	--

6 本時の学習指導（ 本時 5／6 ）

(1) 目標

○目的に応じた商品を自分なりの視点（理由）をもって選ぶことができる。 【思考力・判断力・表現力等】

(2) 展開

時間	学習活動	○教師の支援と指導上の留意点
2分	1 前時を振り返る。 ・消費者の3つの役割についてふれる。 買う前に必要かどうかを考える。 (批判的意識をもつ) 買った後、最後まで使いきることができるかを考える。 自分や家族の消費生活が環境に与える影響を考える。(環境への配慮)	○前時の活動を振り返る活動をとおして、違った商品を選ぶ際にも、文房具選びの観点を活用できるか選ぶ商品と照らし合わせて考えさせる。値段、分量、品質、環境への配慮などの情報を集めて、その観点を意識して選ぶ。 学習課題 林間学校のグループでカレー作りをするための材料を選ぼう。
1分	2 カレーの材料を購入するという場面から、本時の学習課題を知る。	○身近なカレー作りの材料を考えさせることで、実際の自分の生活を想定し、判断しやすいようにする。 ○前時の3種類のカレーの材料の値段、分量、品質、環境への配慮に関する情報を、商品の品質表示や値段表示を見せながら表に整理させることで、3種類の違いを意識させるようにする。 ○3つの商品を選択しやすくするために、パワーポイントの資料を児童のiPadに送っておく。
7分	3 どの商品を購入するとよいか、前時まとめた表を比べながら①、②、③から、どの材料を購入するか選ぶ。 購入するものが決定したら、どの視点を重要と考えて選んだのか理由を言えるよう、自分の言葉でワークシートに書かせる。	○どの観点で商品を選んだのか、自分の考えを明確にさせながら選択させる。選択した材料の番号をiPadの画面に映し出させ、教師が学級全体の意見が見えるよう共有する。(アプリ「クラスルーム」で学級全体が選んだものを把握し、AppleTVに映し出す。)
18分	4 整理した情報をもとに、選んだ商品についてグループで対話する。 その後、話し合ったことや気づいたことを全体で交流をする。	○林間学校でのカレー作りを想定しての材料選びであるが、この話し合い活動の目的は合意形成ではなく、自分がどの視点を重要と考えて商品を選んだかを伝え合う、意見の交流であることを確認してから話し合いをさせる。

	発表カード - 私は、値段と量に視点を置いて○を選びました。訳は～だからです。 - 私は、環境への気配りを第一に考えました。だから、○を選びました。 - どれも品質は同じなので私は、分量と環境への気配りを視点において考えました。あと、□□のことも考えて○を選びました。	
7分	5 友達の発表を聞いたうえで、自分が最終的にはどの商品を選ぶか決定する。	○初めに自分が選択したものと変わっていてもよいとする。 ○発表カード（文房具選びをした際のポイント）を提示することで、児童がどの観点を使って選んだかを明確にさせ、意見交流がしやすいようにする。 ○隣の席の児童や、グループの児童と意見交換をすることで、商品を選ぶ際に重要視する観点が個人によって異なることに気付かせる。意見交換でそのことに気づいた児童がいた際には、学級に紹介し称賛する。 ○児童が同じ種類の材料を選んでいても、選んだ観点が違う場合を取り上げ、様々な価値観によって商品が選ばれていることを確認する。 ○食べ終わった後の後始末のことまで考えることも環境への気配りにつながることに気付かせる。
	目的に応じた商品を自分なりの視点（理由）をもって選ぶことができる。 【思考・判断・表現】（ワークシート・iPad・行動観察）	
	おおむね満足できる状況（B） - 自分のグループのことを考えて商品を選び、その商品の良さを選んだ理由を伝えている。 →自分がどのような理由でその商品を選んだのか、どの観点を使って考えをまとめたのか発表できるよう助言する。	
5分	6 前時学習での文具を選ぶ際の観点と、本時のカレーの材料を選ぶ際の観点を比較し、商品を選ぶときの観点を整理する。 ○値段 ○分量 ○品質 ○環境への配慮	○種類が異なる商品選びの観点を確認することで改めて消費者観点が違うことに気付かせる。 ○商品によって使う観点が違ったり、個人の選び方の視点に違いがあったりすることをおさえ、目的に合わせてよりよい選択ができることがより良い消費につながることを確認する。
	まとめ カレー作りは、分量や値段、品質、環境への気配りの観点から商品を選ぶことが大切である。	
	7 商品を選ぶ際のポイントについてまとめる。	○個人の価値観だけを優先させるのではなく、その時の条件や商品について必要な情報を集めて購入することで、より良い消費活動を行えることをおさえる。

5分	8 本時の振り返りをする。 9 次時の予告をする。	○本時の振り返りをワークシートに記入させることで、買物で商品選びの際には、様々な観点があることを自分の言葉でまとめさせ、考えを深めるようにする。 ○いくつかの商品を提示し、それぞれの場合での観点到視点をおくかを考えさせ、次時の家庭実践計画書作成への意欲をもたせる。
----	---	--

7 板書計画

⑧ 林間学校のグループでカレー作りをするための材料を選ぼう。

消費者の役割

野菜の種類	セットの内容	品質・使いやすさ 安全性等	大きさ・分量	値段	環境への配慮
 カットしてある 玉ねぎ ジャガイモ ニンジン	玉ねぎ 800g 400円 ジャガイモ 800g 300円 ニンジン 300g 300円	皮をむいて切っている ので、すぐ使える。 時間短縮になる。	分量が必要な量より も多かったり、少な かったりする。	3つの中で、一番値段 が高い。	生ゴミが出ない。
 伊勢丹 玉ねぎ ジャガイモ ニンジン	玉ねぎ 1つ 100g 50円 ジャガイモ 1つ 100g 50円 ニンジン 1本 100g 100円	調理をする前に、皮を むいたり、切ったりし なくてはいけない。 選んで買える。	好きな野菜の数を増 やしたり、苦手な野 菜の数を減らしたり できる。	必要なだけ買える ので、無駄がない。	生ゴミが出る。
 ふくろ入り 玉ねぎ ジャガイモ ニンジン	玉ねぎ 800g 300円 ジャガイモ 800g 300円 ニンジン 300g 200円	調理をする前に、皮を むいたり、切ったりし なくてはいけない。	いくつか入っている ので、使う数の調整 をすることができ る。余ったら、取っ ておくことができる。	3つの中で、一番値段 が安い。 お買い得。	生ゴミが出る。

買うときによく考えること

	品質・使いやすさ 安全性等	大きさ・分量	値段	環境への配慮
ノートを買うとき				
カレーの材料を買うとき				

⑨ カレー作りは、分量や値段、品質、環境への気配りの視点から商品を選ぶことが大切である。

8 ワークシート

5年1組 () 番 名前 ()			
①  カットしてある 玉ねぎ ジャガイモ ニンジン		②  ぼうろ入り 玉ねぎ ジャガイモ ニンジン	③  ふくろ入り 玉ねぎ ジャガイモ ニンジン
第一印象で選んだもの わたしが選ぶのは _____ です。		選んだ理由	
メモ			
ファイナルアンサー わたしが選ぶのは _____ です。		選んだ理由	
まとめ			
ふりかえり			

1



カットしてある
玉ねぎ ジャガイモ にんじん

2



ぼろ売り
玉ねぎ ジャガイモ にんじん

3



ふくろ入り
玉ねぎ ジャガイモ にんじん